2019年8月1日発行（毎月1回1日発行） 通巻308号 ISSN 1880-5248

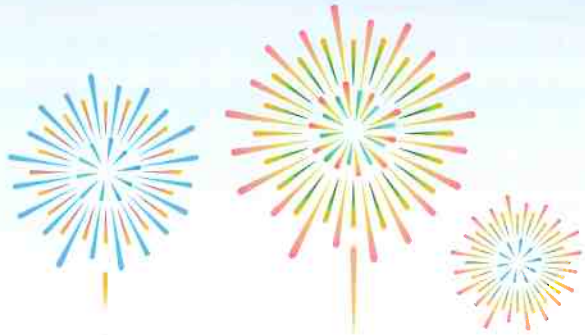
CARE WORK ケアワーク

8 No.308 AUGUST 2019

特集 在宅医療の最前線から

その人らしい暮らしの継続と最期を支えるために

医療法人社団 悠翔会 理事長・診療部長 佐々木 淳氏



ケアトピックス
認知症介護におけるストレス対策研修テキスト
『みんなで考える認知症ケア
～利用者の気持ち、あなたの気持ち～』

リレーインタビュー 一番星 見つけた！
大山 健さん 特別養護老人ホーム みちのく荘

知っておきたい成年後見制度
2つの制度のかたちと最新の利用状況

公益財団法人 介護労働安定センター

一番星＊見つけた！<第4回>

特別養護老人ホーム　みちのく荘（青森県）　大山　健さん（31歳）

この連載では、書籍『介護男子スタディーズ』に掲載の介護男子をご紹介しています。8月号はIT企業などに勤務後、介護職に就いた大山さんにご登場いただきました。

――なぜ介護の道に進んだのか、教えてください。

正直なところ、最初はやりたくて選んだ道ではありませんでした。大学を卒業して仙台で営業マンとして働いていましたが、両親の体調不良をきっかけに帰郷しました。地元は青森県むつ市にある田舎町で、ほとんどの求人が介護職員と土木作業員でした。その二択で選んだのが介護職でした。

もちろん、いまとなってはこの仕事に就いてよかったと心から思っていますが、就職当時は、はたして自分にこの仕事が務まるのだろうかと不安でいっぱいでした。

――現在の仕事の内容を教えてください。また、どのような手応えを感じていますか？

いまは、特別養護老人ホームでユニットリーダーとして勤務しています。利用者様の食事・入浴・排泄といった生活支援から、日々、生きがいをもって過ごしていただくために体操やレクリエーションなどを行っています。

利用者様との会話の中には、ケアのヒントがたくさんあります。好物は何か、昔はどのような生活をしていたのか、アセスメントした情報をケアに活かせたときは、「よし！」と思います。

――これまで仕事を通じて、自分はどのように成長したと思いますか？

私には理解できない習慣や考え方に相対したときに、否定するのではなく「そのような考え方もある」と受け入れられるようになったことです。高齢者の方の多くは私より50歳以上も年上で、生きてきた時代が違い、歩んできた人生も違う。当然、考え方も違えば習慣も違うのだから無理に自分の枠に当てはめて考えるのではなく、その人を尊重し、受け入れようと思えるようになりました。

――いま、仕事をするうえで、悩み事はありますか？

現場ではICTの導入が進んでおり、介護職員はPHS・iPod・スマートフォン端末を持ち、耳にはワイヤレスのインカムをつけて業務にあたっています。しかし、そのような機器を現場で100％活用しきれていないと感じています。今後ますます介護人材の不足が進んでいく中で、ICTの推進に自分自身がどのように携わっていけるか模索しています。

――今後の目標や、これから挑戦してみたいことを教えてください。

まだまだ未熟で、日々業務に追われている状況なので、まずは自分の役割をしっかりこなしていきたいと思います。そのうえで、ICTの導入やグローバル人材の登用、シェアリングケアなど介護人材不足に対して当法人でもいろいろなアプローチをしているので、介護職員の目線でその一端を担っていきたいと思います。

――将来、介護の仕事「ケアワーク」はどうなっていると思いますか？

介護男子発起人の一人、馬場拓也さんがトークセッションの際におっしゃっていた「現場からイノベーションを発信していきたい」。あの言葉にワクワクしたことを覚えています。そのときに想像したのは、外国人の介護士が日本人と共に介護ロボットを使いこなしながら働き、利用者様が穏やかに生活されている姿でした。それは決して遠い未来の話ではなく、もうすぐ来る将来だと思っています。

――これから介護の仕事に就く人や、大山さんの後に介護の仕事に就いた後輩へ、アドバイスをお願いします。

介護の仕事は、良くも悪くも「誰でも就ける仕事」です。ハローワークや求人サイトには介護の求人が多くあり、未経験者歓迎の文字が掲載されています。私もそれを見て介護の業界へ飛び込んでいきました。

しかし、「誰でも就ける仕事」は決して「誰でもできる仕事」ではありません。ケアに悩み、日々勉強が必要です。いまも悩むことばかりです。それでも利用者様の笑顔や言葉に支えられて仕事をしています。

介護の世界で一緒にイノベーションを起こしましょう。

近況写真（本人提供）。木のぬくもりに包まれ、やさしさがあふれるホームにて。

取材協力　介護男子スタディーズプロジェクト
写真提供　『介護男子スタディーズ』（2015年）より
撮影／高木康行